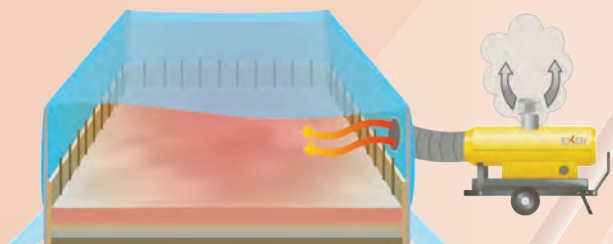


クリーンな温風だけ送り出す 間接型温風ヒーター



**燃料タンク一体型！
 連続運転20時間！**

通常使用イメージ



長時間運転を可能にする、大型の燃料タンクを搭載しており、約20時間の連続運転が可能です。上図のように機器を屋外に設置し、耐熱ダクトで屋内にクリーンな温風を送り込むことで、内部に作業員がいても安全に作業を行えます。

循環式使用イメージ

吸気アダプタ+送風気ダクト、耐熱ダクトを使用し、室内の空気とヒーターで温めた空気を循環させ、効率の良い加温が可能です。



仕様

電圧(V)	消費電力(W) (50/60Hz)	熱出力(kW)	使用燃料	燃料消費量 (L/h) (50/60Hz)	燃料タンク 容量(L)	送風口 最高温度(°C) (50/60Hz)	送風口 最高風速(m/s) (50/60Hz)	暖房目安(m ²) (木造/RC)	質量(kg) (フレーム有/有)	寸法(mm) (L×D×H)	口径(mm) (吸気/排気)	自動消火機能
単相100V (50/60Hz)	510/620	27.1	灯油(JIS1号)	3.2/3.1	67	110/101	14.6/15.6	112/158	65/90	1,250×610×850	φ326/φ300	地震センサー

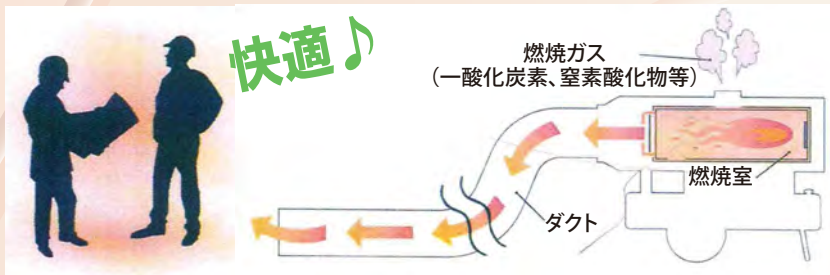


従来のヒーター

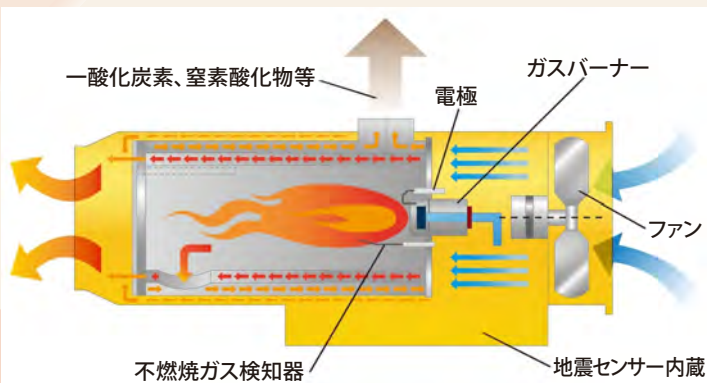
従来のヒーターは、バーナーの熱をファンで直接送り出すため、飛び散った火の粉が周りに引火する危険性があり、また使用できる距離が限られていました。

間接型温風ヒーター

間接型ヒーターは燃焼室で温めた空気のみをファンで送り出すため、クリーンな温風のみが送風され、燃焼ガスは煙突から排出されます。また、ダクトを使用して送風することも出来ますので、離れた所にも送風出来ます。



ヒーターの仕組み



燃焼に必要な燃料とエアが専用回路から供給され、燃焼が始まると燃焼室が高温になります。高温状態になった燃焼室と本体ボディの間を、大型ファンで引き込まれた空気が通過することによって、クリーンな温風を排出する仕組みとなっています。燃焼時に発生した燃焼ガスは、煙突から室外へ排出されます。

⚠ 注意 屋内に設置して仕様する場合は、換気が必要です。

